

No.595

2024.4.15

KINZOKU DANCHI NEWS Since1974

# 金属団地ニュース

60th







### コミュニケーション研修の開催

3月6日(水)13時30分～16時30分まで組合研修センター3階集会室にて伏屋社会保険労務士事務所 吉井元子氏を講師としてお招きして、「コミュニケーション研修」を開催し、団地内企業4社8名の従業員に参加していただきました。

信頼関係を築くコミュニケーションのポイントのひとつ「聴く」事について、ワークや座学を通じて、案外できていないものだなと思うこともたくさんあり、重要性を改めて学び日常を見直すよいきっかけになりました。

また相手の様々な立場になって考えることについて、こちらも同様にワークと座学のなかで理解を深めました。

少し緊張した雰囲気でしたが、グループワーク等を経て他社従業員とも交流を持つことができ有意義な研修会となりました。対人関係の難しさは常につきまといますが、共に働く仲間との円滑なコミュニケーションに活かし、より良い職場の雰囲気にしていこうと思える研修会でした。



### 消防訓練実施

金属団地自衛消防隊による消防訓練を3月13日(水)正午より、組合駐車場南(和井田製作所正門斜め)にある防火水槽を使って実施しました。

今回は吸水時に動力ポンプから水が漏れてしまうハプニングもありましたが適切に対応することでポンプも正常に作動し無事放水を行うことができました。

一人ひとりに役割を任せ充実した訓練になりました。



### 社長就任ご挨拶

大洋鑄造株式会社

代表取締役 二之湯孝二

平素より金属工業団地の皆様には、大変お世話になり厚く御礼申し上げます。去る2月20日の定時株主総会と、その後の取締役会におきまして代表取締役に就任することとなりました。

当社は重電機器を基幹とする総合電機機器サプライヤー“大洋電機グループ”の中にあって鑄造部門を担当する系列会社として、1959年5月に操業を開始し65年が経過し、その間、特に高品質を求められる船用機器(発電機・電動機)生産の一端を担ってまいりました。

継続する資源・エネルギー価格の高騰、円安の継続、人件費の底上げ等で、当面厳しい運営を強いられますが、老朽化した船舶の代替建造、GHG排出ゼロに向けての環境対応船の建造が見込まれ、受注の拡大が予測され喜んでばかりはいられない状況で、生産体制の整備が急務となり、お客様の期待と信頼にお応えするよう新体制をもって進めてまいります。

金属工業団地の皆様におかれましては、引き続き前任者同様、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 3月度月例会開催

3月18日(月)正午より組合研修センター 3階集会室にて3月度月例会を開催しました。

今回は岐阜信用金庫各務原支店様のご協力によりお二人の講師にそれぞれご講演いただきました。前半は(株)学生情報センター 林智明様より『新しい採用手法のご案内』と題しご講演いただきました。新卒採用の競争が激しくなり、採用難と言われる中での中小企業の次なる一手として、新卒版ダイレクトリクルーティングサービス OfferBox (オファーボックス) をご紹介いただきました。豊富な学生数に適性検査を取り入れた学生検索システムを活用し、自社にマッチした人材を直接アプローチができる方法だそうです。後半は(株)ECC 加藤征男様と Zoom で繋ぎグローバル高度人材についてお話いただきました。それぞれ魅力のあるサービスを提供しておりますので興味を持たれた方はぜひご活用ください。



## ドラマアップデート

昨今、よく耳にする言葉に「DEI」という言葉があります。

よく似てますが「DIY」とは全く違います。(笑)

「DEI(ディー・イー・アイ)」とは、「Diversity(ダイバーシティ、多様性)」「Equity(エクイティ、公平性)」「Inclusion(インクルージョン、包括性)」の頭文字からなる略称です。

多様性とアイデンティティを尊重し、かつ、公平な活躍機会を与えられている状態を意味する言葉であり、企業経営における人的資本活用の考え方として近年注目されています。

いつも新しいクールになると、必ずドラマチェックする。何故ならその時期、世相を確認する上でドラマの構成、脚本はとっても重要だからだ。話術のネタとして。(笑)

今年に入って多くのドラマがテーマとして取り入れているものに「多様性・公平性」というのがある。今私が一番ハマっているドラマは、TBS金曜ドラマ『不適切にもほどがある!』。

このドラマは、宮藤官九郎オリジナルの脚本で、1986年から2024年の現代へタイムスリップした“昭和のおじさん”が、過剰にコンプライアンスで縛られた令和の人々に、考えるキッカケを与えていく(令和と昭和の価値観をぶつけあう)、現代社会を客観視させるタイムスリップコメディである。

このドラマは私にとってドンピシャなタイミング。1986年22歳になる年の話。いつ観ても「あるあるネタが満載」で、とっても笑える。あるある。あったあったと。(笑)

もうひとつはフジテレビ土曜深夜ドラマ。

『おっさんのパンツがなんだっていいじゃないか!』。

このドラマは、“最近の若者”を全く理解できないおじさんが、ある日ゲイの青年と出会い、思わず拒絶してしまうが、次第に彼の魅力に気づき、そして知る……。

「人の趣味や指向を他人が干渉するのはナンセンス」だと。これまでの世間の常識・偏見で凝り固まったおじさん(たち)がアップデートしていくドラマ。

この二つのドラマを観て私自身勉強させられた。そう、アップデート！

あらゆるルールや常識がひしめく中で私たちは生きている。しかし、そこには必要以上に苦しんでいる人も。世間や周りからの目、そこから出来上がっていく同調圧力により、いつのまにか自分はこうあるべきだという思い込みや、自分はこうだからとネガティブな自己イメージを作り、悩んでいる人も多い。最近では「多様性を受け入れ合い、異なる価値観同士でも共存していくことが大事」という傾向も出てきている。

「他者と共存しながら自分らしく生きること」「ありのままのその人をポジティブに受け入れながら共存すること」「思い込みからの解放」がテーマになっているドラマも最近では増え、多様性が根づき始めている時代になってきたと思う。しかし、たまに、フツと思うことがある。結婚、就職、マイノリティの人たちが生きていく上でいろいろ厳しい現実がある。ちょっと変わった趣味を持っているだけで差別や偏見にあうこともある。私たち親世代はだからこそ、子どもが苦勞しないようアドバイスを。子どもの幸せを願うのはどの親も同じ。だけど、いつも方向性が真逆になる。子ども(相手)の本質を全く理解せずに世間の(と言いながら自分の)考えを子ども(相手)に押し付けている。

「自分らしさって、なに？」

一人ひとりに自分だけの『好き』があって、それを捨てたら自分じゃなくなるし、自分を偽って生きていても幸せにはなれない。

自分の好きな人に気に入られるためにメイクや服装を相手の好みに変えるのも、本人が納得してするのなら、アリだと思うけど……。本当は見た目じゃなくて心の問題。

好きなことを貫く難しさ、変わることに変わらないことの良悪をしっかりと捉え、誰かの為に合わせたいからとかではなく、それは自分らしさであり、生きることは変化する。アップデートすることだと思う。

人権に限らず、コンプラや多様性、マイノリティに配慮すると「テレビがつまらなくなる」なんて声はよく聞く。でもそういうことを言う人は、決まって同じことを言う。

「昔は良かった」「もっと面白いことをしたいけど、今はすぐに炎上するから出来ない」とか。

だけど、その影で色んな人の尊厳が踏まれていたし、一部の人(マジョリティや強者)が面白いと感じていただけで、「やっちゃいけない」じゃなくて、今は「やっても面白くない」のだと思う。

現実でも、人はやはり常にアップデートしていく必要があるし、古い価値観を捨てなければ、傷つけてしまう人がいることを思うと、これで十分。なんてことはなく、絶えず自分自身アップデートしていけないといけない。

ドラマの中で、かつて自分が分からず屋で男尊女卑や根性論など昔のやり方、考え方を押し通そうとしていた上司が、迷惑をかけた職場のみんなからサプライズのお誕生日祝いをされた時の挨拶があった。

「生きていると、思いがけないことが起こる。いいことも、悪いことも。それをいくつも乗り越えるうちに、鈍感になる。鈍感ってことは、生きやすさでもある。でも、感動もなくす。だから、人生の醍醐味を味わいたいなら、自分に慣れないことだ。慣れて、自分もまわりの人間も、雑に扱わないことだ。向き合って、感謝して、必要なら謝る。今なら間に合うぞ、若いんだからな、みんなは！」

何だか考えさせられるスピーチ(セリフ)でした。※名言

芝坊主



# 青年部親睦旅行

3月16日(土)17日(日)青年部親睦旅行に行ってきました。昨年までの旅行とは違い新入会員が増えたことで初参加のメンバーが約半分を占め、いつもとは少し違う雰囲気を感じました。今年は若手の要望により「いい食」をテーマに行き先を大阪to神戸に。大阪では「きたねえハイボール」を飲みながらお好み焼きを食べ、神戸では「成功者の晚餐(疑似体験)」として目の前でシェフが料理を振舞ってくれる鉄板焼きレストランに行き、それぞれ違ったオイシサを楽しみとても濃い旅行でした。今回は3人のメンバーに各イベントの感想を思い思いのまま書いてもらっています。感想一つ見ても人によってスタイルが出ていて非常に面白い仕上がりになっていると思いますので流し読みはせずじっくりと読んでいってください。

## 初日●大阪

昨年鑑賞した吉本新喜劇が非常に面白く今年も見たいとの要望が強かったことから、神戸に行く前に大阪に寄り、なんばグランド花月で吉本新喜劇の鑑賞をしました。

早朝から新幹線で大阪へ移動しあっと言う間に到着。新大阪駅でふるまわれた豚まんを急いで頬張り、なんば駅～グランド花月へ向かいます。

この日の漫才・落語は、ハイキングウォーキング、ミルクボーイや銀シャリなどの有名どころから、西川のりお・上方よしお、桂文珍といった師匠クラスまで幅広いジャンルの芸人が登場し、会場が盛り上がっていました。

TVで見るのとは違い観客参加型の芸もあり、芸人たちと一緒に笑い、楽しむことができました。

そして、新喜劇ではすっちー座長の公演で「すち子の、うそつきはヘッドスパの始まり？」でした。芸人たちの表情や動き、そして口演の巧みさには圧倒され、会場は笑い盛り上がっていました。

私たちが鑑賞した新喜劇は4月20日に放送されるみたいなのでぜひTVで見てください。

なんばグランド花月をあとに一行は、お好み焼きはつせで昼食をとりました。自分で焼き上げるセルフスタイルのお店でしたが、みなさんコテを上手に使い大阪のソウルフードを堪能し神戸へ移動するのです。

## ●神戸

「今年の青年部の旅行だけでもどこか行きたい場所がある人は挙手で教えてください。」

会長の一言と共に皆が一様に思考を巡らす。皆が逡巡することは想像に難くない。今回の旅行は家族や友人との旅行とは異なり、恐らく趣味嗜好が異なる十余人が満足する最大公約数的な解を導き出さなければならない。まして、青年部に所属して日が浅い私にとっては中々に難解なお題といえるだろう。

「初めての旅行だったよな？何かやりたいこととか無いのか？」

私の中で事旅行に関しては少々拘りがある。私の中の旅行の定義とは「ゴルフ、温泉、マッサージそして、おいしい食事と酒を満喫し、仕事への英気を養う期間」である。しかし、このようにじじくさい楽しみ方は恐らく青年部の趣向とは大きく外れているであろう。数瞬思考したのちに、口から出た言葉は

「とりあえず、めちゃくちゃ高くなくていいからちょっとおいしいごはんとか食べたいかなとは思



いますよね。」

確かこんなことを言ったのではないかと思う。そこからどのように決まったのかははっきりと覚えていないが、旅行先は神戸、一日目の食事は鉄板焼きとなった。

実際に歩く神戸の街並みは活気にあふれているものの、大阪よりもごみごみしておらず、ちょうどよかった。店に入るとすでに町プラチムが店内で鎮座しており、ガラス越しに神戸の街並みを見下ろしながら待っていた。合流し、早々に乾杯するとシェフが早速目の前でコースの説明をしつつ、料理を始めてくれた。神戸の街並みをバックに上等な肉や野菜、魚介類を焼き、我々に提供するシェフ。それらを各々ワインやビールを飲みながら楽しむ我々はあたかも成功者になったかのような錯覚を覚えた。普段、素面の状態では頼まないようなロブスターや神戸牛などの高級食材も堪能し、皆一様に大満足で食事が終わった。

「こうなれるように頑張ろう。」

誰かの口からこぼれた言葉であった。本日体験したことのほとんどが言わば夢である。我々は青年部の人間であり、メンバーのほとんどに代表権はない。言わばこの体験も言ってみれば自分の功績とは言えないのである。しかし、今回の体験を経てこれからの仕事を頑張ろうと思ってくれたのであれば、成功といえるであろう。大量のニンニクを摂取し十余体の生物兵器と化した、まだまだ飲み足りない我々は神戸の街へと消えてゆくのであった。

## 2日目

今回の旅行で楽しみにしていた神戸港クルーズ！

商船が大好きでコンテナ船やバラ積み貨物船を見られると期待していたら、まず見えたのは日本籍の巨大クルーズ船「飛鳥Ⅱ」！日本が誇る巨大クルーズ船で世界周遊旅行ができる船です。クルーズ船だけでももっと誌面を割くことができますが、このくらいにして(笑)。

出発すると見えてきたのは、川崎重工と三菱重工の神戸造船所です。潜水艦が多数入渠中で、「すげえ」「意外と楽しい」の声が聞かれました。2つの造船所では、船舶というより、潜水艦や電力プラントなど高付加価値のものを作っているそうです。“最長200mの船舶まで対応できる”とのことでしたが、200mは近年の海運業界的には中型くらいなので、超大型のバラ積み貨物船やコンテナ船の建造はできず、これらの超大型船は瀬戸内海の今治造船やJMU (IHI系の造船所) などの造船所で作っています。

楽しみにしていたコンテナ船やバラ積み貨物船はあいにくの曇り空で見ることができませんでした・・・

日本の輸出入物流の99%以上が海上輸送です。その中で神戸港は日本を代表するコンテナターミナルです。一方、近年国際競争力は下がってきており、アジア向けの貨物は釜山港や上海港に大型コンテナ船で入り、そこから小型コンテナ船で各国に分配されているようです。

これは、船舶の大型化が加速していて、日本の港が大型船の入港に対応できていないことも原因としてあるようです。

ハブ拠点の1つである神戸港を見ることができたのは大変勉強になった一方で、日本の課題感も見たそんなクルーズでした。

神戸港からは徒歩で中華街 南京町へ。商店街はとにかく人混みがすごく、避難するように昼食会場へ入店。大皿の料理で賑やかになった円卓を囲い、和やかに楽しくいただきました。大皿の炒飯を

少し残し中華街をあとにして、それぞれ異国情緒あふれる神戸の街並みや歴史・文化を満喫しました。

## まとめ

まずは、まとめの前に旅行メンバーの皆さんに一言。特に要らないと言っていたTちゃん。チュ、豚まん食べさせてゴ・メ・ン。大阪で有名な豚まんを食べさせてゴ・メ・ン。ま・さ・か、異物混入による自主回収対象品だとは。

今年の旅行も、非常に記憶に残る出来事を残してくれた豚まんに感謝です。今年の旅行参加メンバーは10人で、そのうち初参加はおよそ半分の4人。さらに20代から30代前半のメンバーの割合が50%。旅行前日、ゴルフの打ちっぱなしをご一緒させて頂いた青年部OBの先輩からは「君はもう化石なんだから早くこっちへ来いよ(笑)」と言われた理由がこの旅行でよく分かりました。年齢が一回り近く違くと、俗に言う「パワーがダンチ」なんですね。食べ残しがあっても「僕食べますよ」とお皿をきれいにしてくれる○ッター、1人でも昼から新世界に飲みに行き馴染んでいたであろう○ゲルス、出発の新幹線朝の8時から翌日朝5時半まで飲み続け2日目の朝2年連続寝坊のTちゃん(来年も期待しています)、ホテルでじっと出来ず夕食始まる前から2軒目の為に1時間くらい散歩をする○輔(本音言うと31アイスで店に座らせてほしかった)。まだまだ書き足りないくらいですが、これ以上書くと自分自身のボロが出てきてしまいそうなので以上にします。パワーのある若手たちが、これからの青年部を盛り上げてくれると思うと頼もしい限りです。

さて、この旅行で今年度の公式行事も終わりを迎えました。今年度を振り返ると、良い意味で先輩後輩関係なく言いたいことを言い合える仲になったと思います。この記事が出る頃には来年度になっていますが、この良さを生かして研修、交流をしていきましょう。そして、次期会長へお願いがあります。来年度はおじさんでもゆっくり出来る旅行にしてください。(笑)











# 思いつくままに書いてみました

三星工業(株) 岩井 康志

私の休日は基本インドア派!家でのんびりと過ごすことが多いです。特に楽しみにしているのは家庭菜園とDIYです。

休日の始まりは、朝ゆっくりと起床し、朝食を作ります。最近はBLTホットサンドをよく作りますね。BLTのTは、トマトではなくタマゴを使うので、ベーコン、レタス、タマゴのホットサンドになります。朝食のコーヒーを飲み終えたとお風呂掃除を始めます。

午後は外に出て庭や畑の草を引いたり、野菜の世話をします。春になると苗を植えたり、水やりをしたりすることで、植物たちが元気に育っている様子を見るのはとても楽しいです。収穫するときは特に嬉しいですね。でも収支は全然合いません(涙)。スーパーで買ってくる野菜の方が断然お値打ちです。

また、家のDIYに取り組むこともあります。収納棚を組み立てたり、塗装をしたりと、ちょっとした工作に挑戦しています。家具や雑貨を作ることで、自分の家が少しずつ綺麗に、便利に変わっていくことに喜びを感じます。掃除にしても、家庭菜園にしても、DIYにしても、結局のところ日常の仕事から解放されて、無心で作業に集中できることが良いのだと思います。また、普段仕事では「固い鉄」しか触れる機会のない私にとっては、「木」や「土」など軟らかいものに触れるということは、心の安らぎを得るために必要なことだと勝手ながら思っています。

夜はYouTubeや映画を鑑賞しながらリラックスして過ごします。自分の好きな分野の動画を見ることで、心身ともにリフレッシュすることができます。

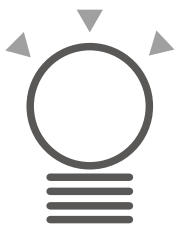
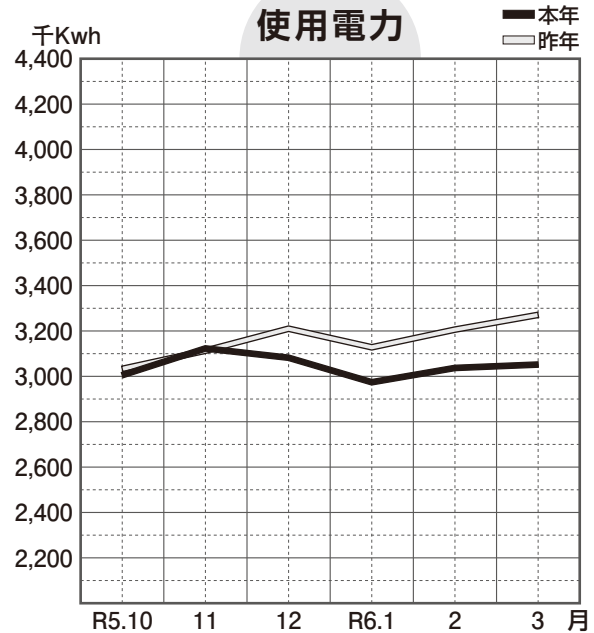
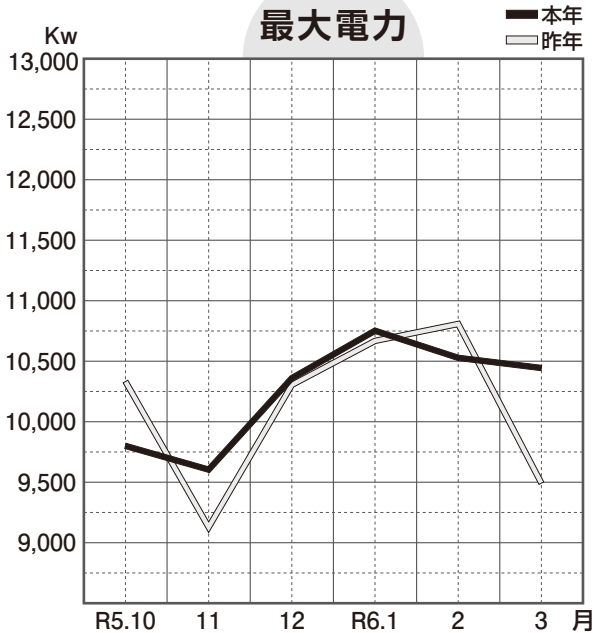
また、イレギュラーではありますが、インドア派が寄稿文字数に困って苦し紛れのネタ作りのための行動ではないと自問自答しながらではありますが、3月9日に妻とふたりで足を延ばして滋賀県長浜市にある黒壁スクエアを散策しました。当日は予想外に雪が強く降りつける中で、大きな後悔と共に震えながらの散策でしたが、昼食はご当地牛に舌鼓を打ち、竹細工やガラス細工を始めとした伝統工芸を見て回り、稚鮎の煮つけやワカサギの天ぶらを始めとしたご当地料理を食べ歩き、あっという間の街歩きとなりました。唯一の失敗は、雪が降る中で手を伸ばしてしまった黒壁ソフトクリーム!、真っ黒なチョコ味でひと口目はおいしかったのですが、食べ進めると「とにかく寒い!!」、口の回りが真っ黒か真っ青かわからないくらい、凍えながら食べました。また、インドア派には海洋堂フィギュアミュージアム黒壁がお勧めで、古くは「鉄人28号」から、「ガメラ」、「北斗の拳」、「キン肉マン」、「エヴァンゲリオン」といった、フィギュアやジオラマ、海洋堂さんが過去に販売したガチャガチャなどが博物館の形で展示してあり、興味の無い妻を雪降る中で待たせながらも童心に返りひとりで楽しんでしまいました。家庭でできる趣味を増やそうと、「模型やジオラマ」などホビー分野の開拓を決意したのであります。



そんなこんなで、私の休日は充実した時間を過ごせています。



## 令和6年3月分電力使用状況



## 電気は正しく使いましょう!!

### 照明のLED化について

昨今、白熱電球や蛍光灯の製造中止に伴って、照明のLED化が急速に進んでいますが、照明をLED化することでのメリット、デメリットとは何があるのでしょうか。

#### ●メリット

- ①他の照明に比べて長寿命であるため、交換の手間がかからない。
  - ➔ 蛍光灯：3年程度    LED：11年程度
- ②消費電力が少ないため電気代が安くすむ。
  - ➔ 蛍光灯からLEDに更新すると、1年間でおよそ3割程度電気代が安くなる。
- ③LEDは紫外線を出さないため虫が寄り付かず屋外灯に適している。

#### ●デメリット

- ①導入コストが高い
  - ➔ LEDは寿命が長く、消費電力が少ないため、長期的に使用すればコスト分を回収できるがLED化するためには従来の照明の安定器を撤去、配線工事が必要なものもあり導入コストが高い。

以上のことからLED化には、経済的かつ高い省エネ効果が期待されるため、一度検討してみてもいかがでしょうか。



# 行事予定

2024 **4** April

<b>16</b> 火	
<b>17</b> 水	
<b>18</b> 木	
<b>19</b> 金	第1回選挙管理委員会(12:00～)
<b>20</b> 土	『組合休日』
<b>21</b> 日	
<b>22</b> 月	
<b>23</b> 火	編集委員会(12:00～)
<b>24</b> 水	
<b>25</b> 木	正副理事長会議(12:00～)
<b>26</b> 金	青年部定時総会・懇親会
<b>27</b> 土	『組合休日』
<b>28</b> 日	
<b>29</b> 月	『昭和の日』 『組合休日』
<b>30</b> 火	

2024 **5** May

<b>1</b> 水	
<b>2</b> 木	
<b>3</b> 金	『憲法記念日』 『組合休日』
<b>4</b> 土	『みどりの日』 『組合休日』
<b>5</b> 日	『こどもの日』 『組合休日』
<b>6</b> 月	『振替休日』 『組合休日』
<b>7</b> 火	業務委員会(11:00～) 総務委員会(12:00～)
<b>8</b> 水	労務委員会(11:00～) 環境委員会(12:00～)
<b>9</b> 木	財務委員会(12:00～)
<b>10</b> 金	監査(10:00～)
<b>11</b> 土	『組合休日』
<b>12</b> 日	
<b>13</b> 月	役員会(12:00～)
<b>14</b> 火	第2回選挙管理委員会(12:00～)
<b>15</b> 水	

## ■ 5月の行事予定

- 5月23日 ㊦ 献血(13:30～16:00)
- 5月24日 ㊩ 第63期金属団地定時総会(14:00～)  
総会懇親会(17:30～)
- 5月25日 ㊪ 総会記念ゴルフ





# G-MECCA

Gifu Metal Engineering Community Cooperative Association

<http://www.g-mecca.jp>

